

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結びつく可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

|                                                                                                                                          |                                                                                                                    |                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>警告</b></p> <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃以上はダメ</p> <p>85℃より高温で使用する、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                       | <p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>                                                                             |
| <p>分解は、保守・点検のため決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                                              | <p>器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>                                       | <p><b>台付仕様の場合</b></p> <p>キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>                                        |
| <p><b>壁付仕様の場合</b></p> <p>湯側ソケットは給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>                                        | <p>高温の湯をお使いのときは吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>                                             | <p>湯水をお使いになる前に、必ず手で湯温かどうか確かめてください。</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</p> |
| <p><b>シャワー仕様の場合</b></p> <p>お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>                      | <p>湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。</p> <p>湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。</p> | <p>レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>                                                          |

1 ページ

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- イラストは参考です。仕様により異なります。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

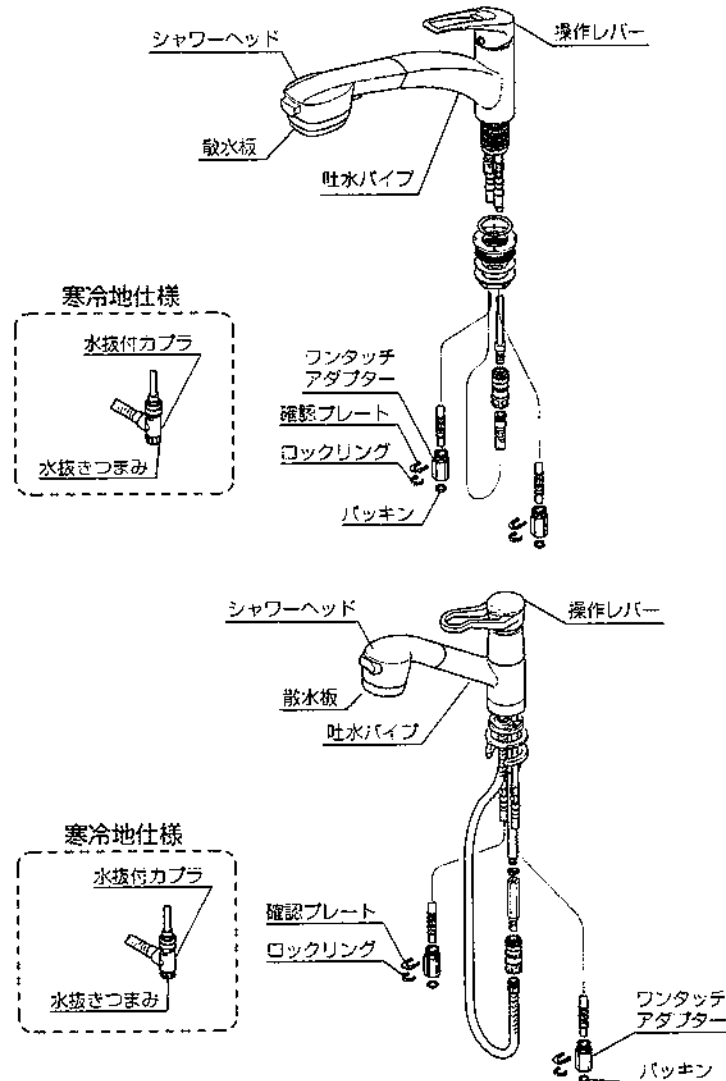
|                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                          |                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>この絵表示は、<b>「禁止」</b>の内容です</p> <p><b>やけど、漏水をした場合の処置</b></p> <p>やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。</p> <p>漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。</p> | <p>この絵表示は、<b>「分解禁止」</b>の内容です</p> <p><b>シャワー仕様の場合</b></p> <p>シャワー使用後は、吐水切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。</p> <p>吐水切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。</p>  | <p>この絵表示は、<b>「接触禁止」</b>の内容です</p> <p>高温の湯をお使いの後は、必ずレバーを水側にし、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p>水を流さないで次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>この絵表示は、必ず実行していただく<b>「強制」</b>の内容です</p> <p>お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合があるので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。</p> |
| <p><b>警告</b></p> <p><b>シャワー仕様の場合</b></p> <p>シャワーには60℃以上のお湯を通過させないでください。</p> <p>60℃以上はダメ</p> <p>通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>                                                                         | <p><b>寒冷地仕様の場合</b></p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                                | <p>配管などの凍結のため解凍機をご使用の場合、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                          |                                                                                                             |
| <p><b>注意</b></p> <p>器具に乗りたり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                                                               | <p><b>シャワー引き出し仕様の場合</b></p> <p>本体の開閉部へ直接湯水をかけないでください。</p> <p>漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。</p>                                              | <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>              |                                                                                                             |
| <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>                                                                                                                                                            | <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておく、配管に布を巻くなどして、凍結防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> |                                                                                                                                          |                                                                                                             |

2 ページ

## 各部のなまえ

## 快適にお使いいただくために

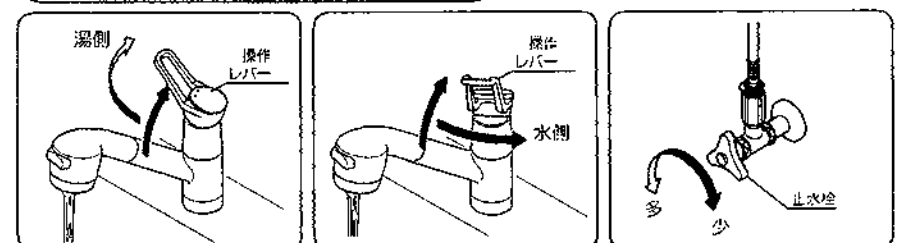
水栓本体の品番を認識するための品番ロットシールの貼付位置は、各商品によって異なります。水栓本体の後側もしくは側面に貼られています。



(注意)  
各製品の形状など、仕様の異なる場合があります。

3 ページ

## 止水栓での流量調節のしかた



操作レバーを全開にした後、左側（湯側）一杯に回して、吐水の太さを確認してください。

操作レバーを全開にした後、右側（水側）一杯に回して、吐水の太さを確認してください。

止水栓を右に回すと流量が少なくなり、左に回すと多くなります。湯側の太さと同程度になるよう水側を調節してください。

(お願い)  
止水栓が設置されていない場合は、水道メーター部の元栓で調節してください。  
(ただし、湯・水の流量バランスの調節はできません。)

修理のご依頼は、取付店・販売店または KVK 修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールで確認してください。

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料：診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

部品代：修理に使用した部品代

出張料：製品のある場所へ来社者を派遣する場合の費用

KVK 修理受付センター TEL 0120-474-161

上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用できません。

携帯電話からは 058-234-8946 をご利用ください。

受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

株式会社 KVK

本社・工場/〒501-1195 岐阜市黒野308/TEL 058-239-3111 代表

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

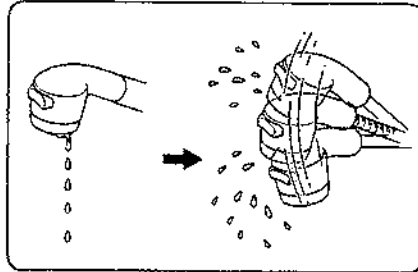
4 ページ

## お使いいただくにあたり

ご使用に際し、下記の様な現象があった場合、水栓本体の故障が原因ではありません。

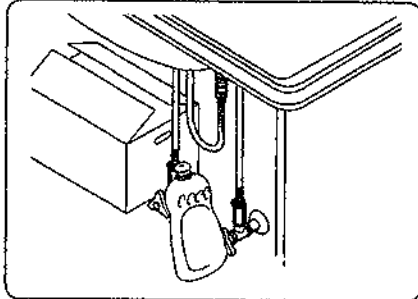
### ●残水の注意

水を止めた後、シャワーヘッドより水滴が落ちる場合があります。  
これはシャワーヘッド内の残水が落ちている場合が多く、水栓からの水漏れではありません。  
シャワーの使用後、シャワーヘッドを振って水切りをしておくことで予防できます。



### ●シャワーホースひっかきの注意

シャワーホースが収納しにくかったり、引き出せなくなったりする場合があります。  
これはキャビネット内に多くの家庭用品が収納された際に、ホースがひっかかったり、干渉して収納できなくなる場合が多く、無理に引っ張るとシャワーホースの損傷へつながります。ホースまわりにはできるだけ物を置かないでください。

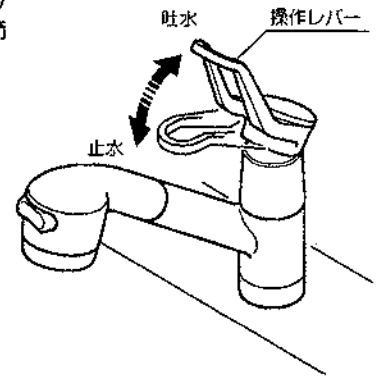


5 ページ

## 使いかた

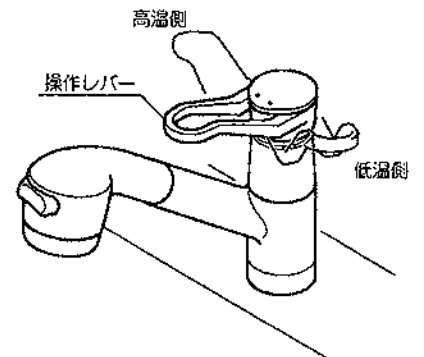
### 吐水と止水・吐水量の調節

操作レバーは左右どの位置でも下げると止水し、上げると吐水します。  
吐水量は上げるにしたがって多くなります。  
お好みの吐水量に合わせてお使いください。  
(お願い)  
吐水量は、レバー全開時に適量(湯水が同量)となるよう、キャビネット内の止水栓で調節してください。



### 温度の調節

温度調節は操作レバーの回転操作でおこないます。  
操作レバーを右いっぱいに戻すと水、左に戻すにつれ徐々に温度が上がり、左いっぱいでは最高温になります。  
お好みの温度に調節してお使いください。

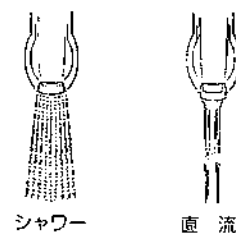


6 ページ

## 使いかた

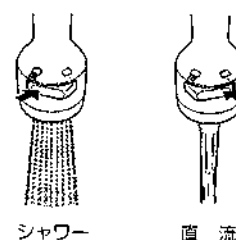
### シャワーと直流の切り替え

<プッシュ式切り替えの場合>  
シャワーヘッド先端の切替ボタンを押すたびにシャワー→直流→シャワーと切り替わります。



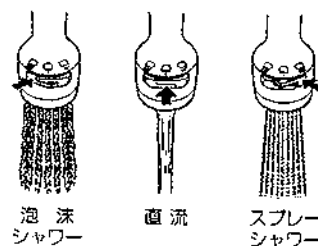
### <シーソー式切り替えの場合>

シャワーヘッド先端の切替ボタンの右を押すと直流に、左を押すとシャワーに切り替わります。



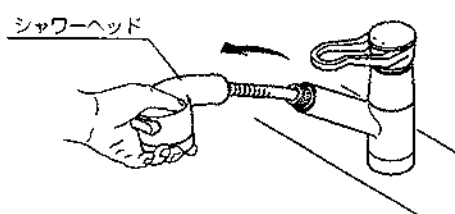
### <3ウェイ式切り替えの場合>

シャワーヘッド先端の切替ボタンの中央を押すと直流に、右を押すとスプレーシャワーに、左を押すと泡沫シャワーに切り替わります。



### シャワーヘッドの引き出し

シャワーヘッドを持ち、手前に引くと引き出すことができます。  
使用目的に合わせてお使いください。



7 ページ

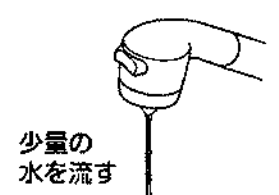
## 凍結予防 (一般地仕様の場合のみ)

### ⚠ 注意

凍結が予測される場合は、以下の処置をおこなって凍結予防をしてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。

### <予防1>

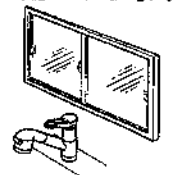
水栓より少量の水を出しておく。



### <予防2>

室内の保温をおこなう。  
(窓を閉めておく。室内を暖める等)

### 窓は閉めましょう

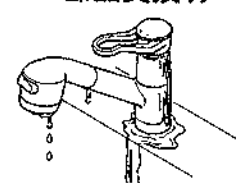


### <凍結が発生した場合の処置>

#### <部品交換>

冷え込んだ夜の翌日、操作レバー部からの水漏れ・水が止まらない・温度が合わない等の現象が発生した場合、凍結による内部部品の破損が考えられます。この場合、内部部品の交換が必要となります。

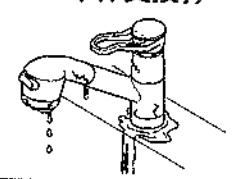
### 部品交換 !!



#### <本体交換>

水栓本体部にひび割れ・ふくれ等が発生し、水漏れがある場合は、凍結による破損です。本体の交換をお願いいたします。

### 本体交換 !!



#### <お願い>

凍結による破損は保証期間内であっても有償修理となりますので、凍結破損させないように注意してください。

8 ページ